記入上の留意事項

戸籍名と本学で使用する氏名が異なる場合（旧姓使用等）は下記のように記入すること。
また、アルファベット表記は本学で使用する氏名について記入すること。
（例）武蔵野（ムサシノ）　太郎（タロウ）
（戸籍名：有明（アリアケ）　太郎（タロウ））

教 員 の 個 人 調 書

（その１）

履　　歴　　書

フリガナ 氏　　名	ふりがなは「ｶﾀｶﾅ」で記入すること。	性別		本籍地 又は国籍		写　真 1. 縦4 cm×横3 cm 2. ３カ月以内に撮影したもの
アルファベット表記						
生年月日（年齢）	西暦　　年　　月　　日　生　　（満　　歳）					
現　住　所	〒 電　話　携帯電話を所有している場合は必ず記載すること。 E-mail					

学　　歴

年　　月	事　　項
西暦	・出身高等学校名から記入すること。 ・大学以降については、学歴・学位を漏れなく記入すること。 ・博士課程において所定の単位を取得し博士の学位を授与されないまま退学した場合には、「博士課程単位取得後退学」と記入すること。 ・学位については、付記された専攻分野の名称及び学位論文の題目を併記すること。 ・学位、称号の他、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、教員等の資格についても本欄に記入してください。この場合、登録(免許)番号も併記すること。
保 有 学 位	保有する学位をすべて記入すること。　例:○○学士、修士（○○学）

職　　歴

年　　月	事　　項
西暦	・すべての職歴（自営業・主婦・無職等を含む。）について記入し、職名、地位等についても明記すること。 ・非常勤講師歴も可能な限り記入すること。 ・各職歴について、在職期間を明確に（「○年○月迄」等）し、現職については必ず「現在に至る」と記入すること。 ・過去に大学設置・学校法人審議会による大学院教員資格の判定を受けている、または他大学にて大学院教員資格を有する場合は、大学名、保有資格（○合・合・可）を記入すること。
1996 年４月	【記入例】 静岡県立大学大学院国際関係学研究科　　専任　教授　アメリカ文化研究　○合

学会及び社会における活動等	
現在所属している学会	提出時に所属する学会の名称を記入すること。

年　　月	事　　項
加入年月順	(学会活動) 【記入例】 ○○学会会員(○○年○月まで) ○○学会会員(現在に至る) △△学会会員(○○年○月より○○年○月まで　評議員) □□学会会員(○○年○月より現在まで　常務理事)
加入年月順	(社会における活動等) 【記入例】 ○○学術交流委員会委員(○○年○月まで) △△県□□審議委員(現在まで) ○○事業団○○モデル事業指導(○○年○○月) ○○省○○プロジェクト推進事業(現在に至る)

賞　　罰	
年　　月	事　　項
西暦	学術奨励賞、出版賞、学会賞等があれば、記入すること。 (通常、「賞罰共なし」と記入する例が多い。)

上記のとおり相違ありません。

西暦　　年　　月　　日

氏 名　　㊞